



報

ななみおくに

町の人口

50年3月末現在

総人口 5,721人

男 2,733人

女 2,988人

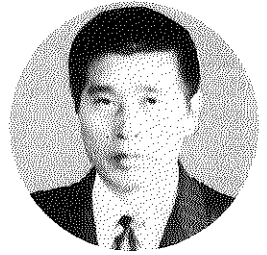
世帯数 1,364戸

No.138

5月行事予定

- | | |
|-------|-------------|
| 5月4日 | 少年剣道錬成南小国大会 |
| 5月5日 | 招魂祭 |
| 4月下旬 | 秋葉山つつじ祭 |
| 5月上旬 | |
| 5月8日 | 黒川温泉祭 |
| 5月15日 | 事業統計調査実施 |
| 5月12日 | 春の交通安全週間 |
| 5月21日 | |
| 5月1日 | 日赤募金月間 |
| 5月31日 | |

5月号 50



町 長

藤堂 眞人 42 無新

学校 慶応大学経済学部通信教

育修了

職業 農林業

当 1

佐藤 忠袞 46 無新

満願寺、農林業、菊池伝習農

場卒、前黒川小後援会副会長

当 1

鞆馬 司 53 無新

湯田、農業、高小卒、農業委

員

当 1

藤里 惟喜 58 無現

満願寺、農業、高小卒、町議

会経済副委員長

当 3

河津 検 52 無現

中原、農業、阿蘇農卒、前農

協理事

当 3

河津千代喜 55 無現

中原、農業、高小卒、小国高

父兄会長

当 2

石橋 文侍 49 無現

中原、農業、菊池東部実業卒

農業共済運営協議会長

当 3

加賀 康美 54 無現

赤馬場、農業、高小卒

当 5

加藤 治嘉 46 無新

満願寺、商業、高小卒、満願

寺小後援会長

当 1

井 金行 45 無新

満願寺、農林業、大津農卒、

前農協青壮年部本部長

当 1

井 益雄 61 無現

満願寺、農林業、高小卒、元

農協理事

当 2

北里 智治 44 無現

黒川、旅館業、菊池東部実業

卒、町商工会副会長

当 2

斉藤 徹三 45 無新

満願寺、農業、阿蘇農卒、市

原小後援会役員

当 1

井 光一 51 無新

満願寺、農業、高小卒、小国

地区交通安全協会星和支部長

当 1

町民の審判下だる

児玉 喜晴 48 無新

満願寺、農業、九州学院卒、

元農業委員

当 1

宇都宮繁義 46 無新

中原、農業、高小卒、農協理

事、農協園芸部会長

当 1

長谷部広雲 62 無現

満願寺、僧侶、大谷大専門部

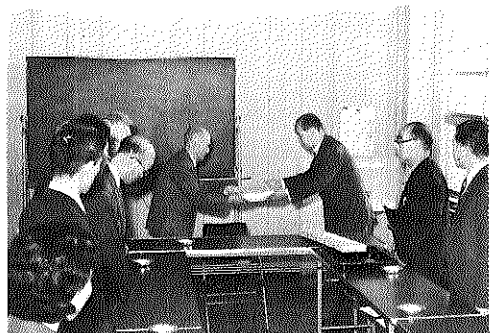
卒、保護司、町農協監事

当 6

北里健介氏に功労表彰

去る四月十四日南小国町表彰審議委員会において、協議の結果満場一致で表彰がきまり、直ちに本人にご出席を願う表彰式が行われました。

氏の功績は公立学校職員として三十三年間の長期に亘り学校教育振興、青少年の健全育成、社会教育の振興充実、郷土の発展等に貢献せられ、昨年の叙勲で勲五等瑞宝章を受賞されました。これ等のすべてが、南小国町の表彰規程に適合し、功労表彰の栄に輝いたしだいです。



役場職員配置図

宗像清博	河津正純	岩下利雄
------	------	------

人工授精所

管財課

臨時 池田弘子	臨時 下城久美	臨時 北 敬助	臨時 佐藤美男
------------	------------	------------	------------

宿直員
梅野 良孝
庁務員
佐藤 マキ

経済課

臨時 杉野利夫	係長 斎藤康之	麻生健一	福岡三樹雄	臨時 佐藤丸美	脇田堅政	臨時 森本弘子
	係長 和田一介	池田亨司	加津勝也	橋本穠治	平野康則	

建設課

課長 首藤敏男	係長 井野 誼	村上吉宏	村上文秋	臨時 石橋由美	
杉野雅子	係長 大塚利弘	仲摩一徳	係長 室原昭博	田中佑一	森 明治

総務課

日野哲郎	臨時 武田二三男	長尾美鈴	穴井公明	係長 佐藤陽一	臨時 佐藤信俊
籠馬まゆみ	書類	日野モモ	河津幸治	係長 佐藤信俊	臨時 佐藤信俊

税務課

	加賀公也	手嶋健二	係長 下城親人	臨時 木田義三
佐藤ハツ子	臨時 荒井清代	佐藤今朝二	係長 武石益男	

町長
森田良人

会計室

平野 マシ	会計係長 佐藤陽一	収入役 北里吉生
----------	--------------	-------------

佐野泰志	藤井徳男	北里嘉也
館水さえ子	渡辺幸子	臨時 中島弘樹

住民課

臨時 池田弘子	臨時 加賀 孝
係長 加賀誠一	武田富香

保育所

古川 洋子
北里 良子
鍋島 礼子
安武くに子
穴井 シホ
杉野志津子

二階配置図

図書室 議会事務局

子 嶋本健	臨時 後藤 隆
----------	------------

臨時 橋本ヒツミ	臨時 橋本 秀雄
臨時 橋本 生	

教育委員会事務局

松本美和	臨時 教育委員 北里 吉生
日野澄雄	

高村展夫

税務課分室

市原音頭の

歌詞募集について

市原商工会青年部ではこのたび南小国町教育委員会の協賛をえて「市原音頭」の歌詞を募集しております。お祭や、盆おどりにつかえ誰でも気軽に歌え誰からも親しめる明るい調子のものをお願いいたします。入選者には金一封と賞状をまた応募者全員に参加賞を進呈します。尚締切りは五月末日まで。詳しくは商工会事務所へお問合せください。

森林伐採届け出制

の充実について

森林を伐採する場合は、森林法第十条一項の規定に基づいて、あらかじめ県知事に森林の所在場所伐採面積、伐採方法、伐採齢、その他省令で定める事項を記載した伐採届出書を一ヶ月前に提出して許可を受けなければなりませんので部分林、学校林についても伐採計画(主伐・間伐)がある場合は必ず一ヶ月前に役場管財課に申出下さい。

尚届出書用紙は管財課にあります。

昭和五十年年度

骨格予算決まる

五十年度の南小国町予算
 一般会計 6億9,938万円
 特別会計 2億0,629万円

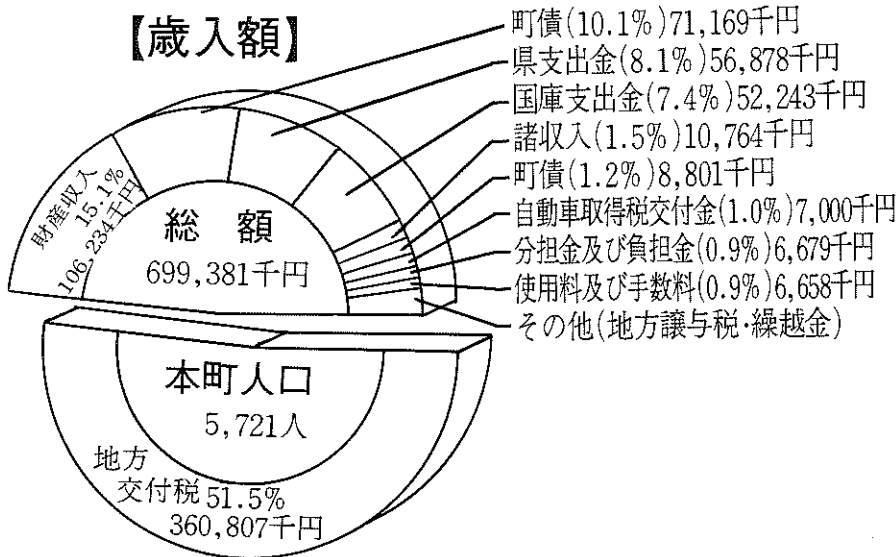
五十年年度の南小国町予算は国の政策に基づき、49年度に引継ぎ抑制的な基調を堅持する方針の下に編成されました。また本年は統一地方選挙の年で町長も改選されることから、骨格予算とし、人件費、扶助費、公債費などの経常的な予算を中心し、債務負担事業、町村計画による町期計画事業などを内容とし、町民生活の安定と福祉の充実に配慮するとともに、経済情勢の推移に対応して機動的、弾力的な運営を図ることを基本としています。このため新町長の政策で今後補正予算を行い、内容の充実したものとなります。

【歳入】
 一般会計の歳入をみますと、町税を柱として地方譲与税、財産収入、使用料、手数料などを含めた自主的財源は全体の二九・三%にあたる二億四百八十二万五千円。反対に地方交付税や国・県支出金

町債など国・県などへの依存財源は六九・七%にあたる四億八千七百七十四万一千円で大きなウェイトを示しています。歳入のなかで最も多い地方交付税（一般財源）は三億六千八十万円で、全体の五一・六%を占め如何に依存度が高いかが判りでしょう。

【歳出】

歳出を総体的にみると本年度は骨格予算として編成したために、新たな事業としてはほとんど予算化してありません。ただ南小国町振興計画（長期計画）に基づく道路事業など一部の事業については計上してあります。また性質別に予算分析しますと、最も大きいのが人件費で全体の三〇%を占める形となっておりますが、今後投資的事業費の追加補正予算により二〇%台になる見込みです。次に消耗品、備品などの購入費や印刷製本費、光熱水費などのいわゆる物件費が一億一千五百三十八万五千円、各種負担金や助成金、補助交



付金などの補助費等が一億一千三百二十万七千円、普通建設事業費の八千二百七十一万一千円の順となっています。

【議会】町議会関係の年間経費として一千八百三十五万八千円を計上、町議会開会費用や各種常任委員会費、議員報酬などを内容としています。

【総務】総務管理や徴税費、戸籍住民基本台帳費、選挙費、統計調査費、監査委員会費などをその内容としています。主なものは小国町との共有財産組合負担金の一千九百九十九千円があります。これはごみ処理場、し尿処理場の運営費や施設の補修、改良に要する費用負担金です。また阿蘇広域圏事業費や組合運営経費の負担金が二百八十二万四千円、部落集会所設置補助金六十万円、財産管理費一千四百三十万円うち入会林野整備事業の二百二十八万五千円。部分林や学校林立木処分地の地元交付金一千二百万円、農協事務所新築の最終年度町助成金二百六十三万二千円、町民のみなさんの交通災害共済負担金六十万三千円、納税組合報償金三百二十万円などを計上し総務費の予算総額は二億二百二十九万三千円。

【民生】社会福祉費のなかには、

国保特別会計が財源不足のため一般会計より繰出金五百万円。老人福祉として医療扶助二千三百九十七万円、老人の日補助、敬老年金老人クラブ関係補助負担金など二百六十三万二千円。児童福祉として重度心身障害児医療助成十五万円、児童手当一千九百二十四万四千円、市原保育所費一千七百三十四万四千円などをその主な内容とし総額八千三百九十八万三千円です。

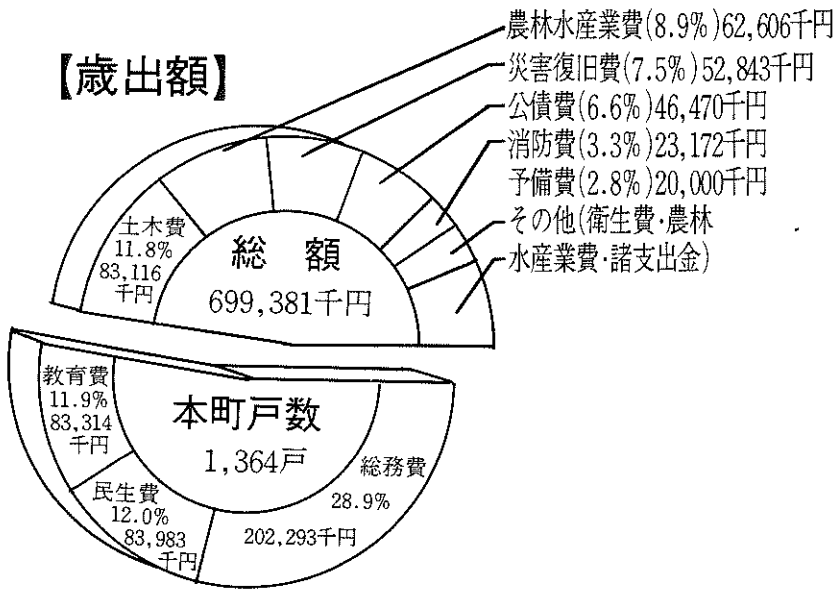
〔衛生〕みなさんの健康管理のための諸経費を計上して総額一千四百四十二万二千円。子宮ガン、胃ガンなどの検診費やレントゲン、成人病など町民の保健予防、医薬、消毒薬品代、ごみ収集用品代、火葬場費などをその内容としています。

〔農林水産〕農業委員会費百六十六万一千円。農林業後継者育成助成金十五万五千円、同じく研修生助成金九万九千円、農協指導員助成金二十三万二千円、小規模基盤整備補助金六十万五千円、奇型草死産助成金二十五万四千円、牧道開発補助金四十万五千円、肉牛導入利子補給金三十一万五千円などのほか、本年より計画実施の山村振興事業（牧道川添線）一千二百四十二万六千円。しいたけ原木購入利子補給金四十五万五千円、林業労務安定対策事業補助金二十

六万四千円、森林組合事業助成金七十万円、小国漁協負担金五十万四千円などを主な内容としています。この農林水産の総予算額は六千二百六十六万六千円で、全予算額の九%にすぎませんが、今後、林道新設改良や林業構造改善事業などの国庫補助事業が決定するものと思われるので、最終的には倍近い予算となるでしょう。

〔商工〕総額九百八十八万三千円です。商工会事業その他助成金百四十四万五千円、観光地整備事業助成、郷土芸能助成、美しい熊本づくり補助金などで百四十七万五千円、その他キャンプ場関係や観光地美化作業経費、宣伝費などを内容としています。

〔土木〕総額八千三百一十一万六千円です。本年から新に制度化された全国町村会道路責任保険掛金五万五千円、土木協会負担金百五万六千円、阿蘇広域圏道路維持機械借上料百二十万五千円、町道舗装事業費三千七百五十万円、町道新設改良費八百五十万五千円、県道改良事業負担金四百六十万五千円。橋梁事業二百四十万五千円、河川改良その他負担金二百五十四万三千円、町営住宅費六百六十七万七千円等が計上されています。〔消防〕総額二千三百七十七万二千円。消防団員報酬や水火災害警戒訓



練費その他消防車維持管理や負担金など一千万円、小型ポンプ積載車庫建設、消化栓かさあげ工事、消防自動車購入、防火水利等施設に対する補助など一千二百五十四万六千円などとなっています。

〔教育〕総額八千三百三十一万四千円。うち教育委員会費八十一万三千円。奨学費貸付金百五万六千円、小学校費三千九百九十七万九千円、中学校費三千二百十九万九千円、社会教育費四百二十五万五千円には婦人会、青年団、子供会等の活動助成、公民館費などが含まれています。また保健体育費として体育協会事業助成その他で百九十九万二千円を計上しています。

〔災害復旧〕総額五千二百八十四万三千円です。四十九年中に発生した農地、施設、林道、公共土木の復旧事業費です。

〔公債費〕総額四千六百四十七万円で過疎及び辺地対策起債をはじめ義務教育施設、災害復旧などの起債の元利償還金などです。

なお特別会計については次のとおり予算決定しました。

国民健康保険一億六千六百九十八万七千円。農業共済事業三千七十九万四千円。簡易水道事業八百五十万八千円。

昭和四十八年度 全国林研グループ発表より

保残木育成による

大径木生産について

日隈国児（30才） 中原

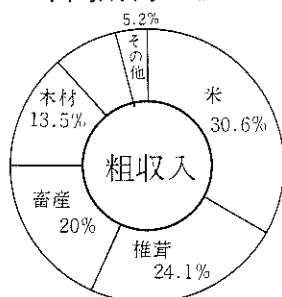


私の町は、熊本県の最北端で、阿蘇外輪山の麓にあり、筑後川の上流に位置し、北部は小国町と隣接し、東西部は大分県に接しています。本町は、東西に一七、五km、南北に八、三km、周囲六〇kmで、総面積は一五、四〇km²、人口は昭和四十八年九月現在五、八二二人であります。林野面積は、総九四〇〇haで町面積の八十一％にあたり、基岩は安山岩で土壌は火山灰の酸性土壌です。標高は海拔四〇〇m～九〇〇mで、その間に耕地、山林、原野といった順に開けており、年間の平均気温は十三度年平均降雨量は二、五〇〇mmで山林の成長が良く人工林の平均蓄積はha当り一九二m²で県平均七八m²

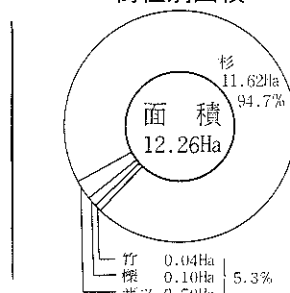
に対し約二、五倍となっており、山林による収入が本町の経済を左右している実情であります。

造林の特徴としては杉が大半を占めており、ヤブググリとアヤスギの挿木苗を適地、適品種によるていねいな植付をする方法であります。また過去、枝打はほとんど行われていませんでしたが近頃は無節材及びシボ丸太等の優良材の生産にも意欲が見られ、技打が実施される様になり、現在林研クラブでも、人工シボ磨丸太の生産実習を行っております。尚木材のほかに、椎茸の生産も盛んであり、農家の経済を支える貴重な資金源となっており、今後益々盛んになるものと思います。次に我家の経営状況を説明しますと、次の図の通りです。

年間所得の状況



樹種別面積



文化財 基本調査について

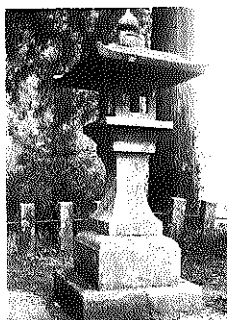
南小国町内を六地区に分けて文化財の基本調査を致しております。まだ調査の途中ですのでもとまったら結果は出ていませませんが、一部分づつでも広報にて、お知らせしたいと思っています。

文化財調査は大変面白いだろうと云う言葉を聞きますが相手が神社、仏閣、観音、荒神、山神、弘法大師、地藏様ですのて体を沐浴斎戒して塩で清め調査に当りては参拝して御許しを得て写真を撮ったり記録をつけています。赤馬場地区を調査し次の様な事に気がきました。

〔石灯〕 古い年代順に記します。

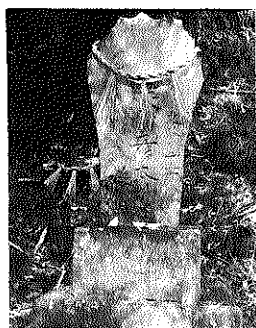
部落 年代

- ① 市原天満宮石燈 宝暦10年4月
- ② 〃 石燈 明和8年8月
- ③ 二川神社石燈 寛政2年11月
- ④ 〃 石燈 寛政5年10月
- ⑤ 千光寺石燈 文化14年7月
- ⑥ 中杉田天満宮石燈 文化3年3月
- ⑦ 上杉田権現石燈 天保3年明輝燈
- ⑧ 秋葉大権現石燈 天保4年千久月
- ⑨ 〃 石燈 天保5年3月



- ⑩ 千光寺石燈 天保8年8月
- ⑪ 若宮神社石燈 天保8年10月
- ⑫ 荒倉普面金剛石燈 天保8年10月
- ⑬ 二川神社石燈 天保9年3月
- ⑭ 赤馬場天満宮石燈 天保14年10月
- ⑮ 竹熊天満宮石燈 弘化2年2月
- ⑯ 〃 石燈 嘉永5年仲久
- ⑰ 中杉田天満宮石燈 嘉永6年3月
- ⑱ 〔猿田彦大神〕
- ① 中杉田猿田彦大神 文化12年2月
- ② 赤馬場猿田彦大神 文化6年4月
- ③ 矢津田猿田彦大神 文化12年正月

④ 若宮社猿田彦大神 天保3年5月
⑤ 貴船社猿田彦大神 天保4年4月
⑥ 荒倉普面金剛 天保7年10月
⑦ 上杉田権現社 天保14年5月
⑧ 千房草猿田彦大神 安政2年
以上の様に文化文政天保の年間の奉寄進の石燈、猿田彦大神建立が多い事がわかりました。文化文政年間には徳川家将軍時代で、ロシヤ・イギリス・アメリカの列強が日本に來航して通商貿易を要求し開港を迫った時代です。又天保年間は、天保の大飢饉の時で早魃と



寒冷で作物が不作つゞきで想像に絶する餓死者の出た時代です。世の中が不安つゞきで何が起るかわからない時に神仏に御祈願して庇護を受けるより方法はなく赤馬場地区の祖先の方々が一生懸命に神や仏に石燈や猿田彦大神を奉寄進して、国家や部落や家庭の平穩無事を祈願した事でしよう。

赤馬場地区調査員 高村辰雄

我々の研究データー (その1)

南小国町林研グループの昭和50年度通常総会は去る4月1日に開催されました。会長佐藤忠雄氏は任期満了により、新しく橋本桂典氏が満場一致で会長に選出されました。改選役員は次の通りです。

特別顧問 森林組合長 河津計助
 会長 橋本桂典(大字赤馬場)
 副会長 藤堂徹美(大字中原)
 会計 井 洋一(大字満願寺)
 書記 石橋一美(大字中原)
 監事 佐藤忠雄(大字満願寺)
 〃 日隈国晃(大字中原)

尚全国林研グループ(会員約200,000人、会長北里達之助氏)今年度の通常総会は去る3月7日東京代々木オリンピック記念青少年総合センターで開催されましたが行事の内、体験発表で熊本県代表として南小国林研会員の橋本桂典氏が「間伐を主体とした私の林業経営」と題して研究発表して好評を得ました。当町林研グループは昨年には日隈国晃氏が「保残木育成による大径木生産について」と題して発表したが連続2年県代表の栄誉を得ました。発表内容は次の通り御紹介致します。
 [昭和49年度

林研体験発表資料]

間伐を主体とした

私の林業経営

熊本県阿蘇郡南小国町
 南小国町林研クラブ会員
 橋本 桂典(35才)
 南小国町は、県の北端、

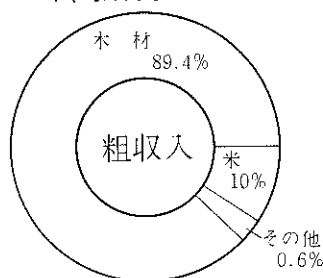


九州のほぼ中央に当り、林野率は88%農林家戸数594戸の山村であります。年間降雨量は約2,500mmで土壌は阿蘇の火山灰土ですが、山麓や谷間は腐蝕に富み、団粒構造が良く発達し杉の生育に適しており、標高440~700mの間に見事な杉林が広がっています。

次に我家の経営状況を説明しますと、次の図の通りになります。

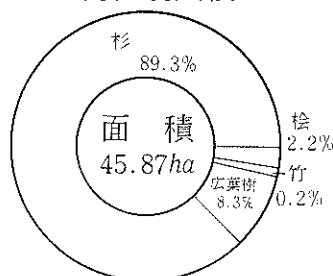
番号	続柄	年令	労働能力	年間稼働日数	主として従事する作業
1	父	61	0.8	130	農業・林業
2	母	55	0.7	100	〃
3	祖母	84			
4	本人	35	1.0	250	農業・林業
5	妻	33	0.8	130	〃
6	長男	10			
7	長女	8			
8	次女	4			
9	次男	1			

年間所得の状況



私は過去15年間、わりあい粗放な林業経営を行ってきましたが、昭和39年に林研クラブに入会し、林業について勉強するようになってから、これからの林業経営は、100年位の長伐期、大径木生産を最終目標にして、途中間伐を何回も繰り返して中間収入をあげるべきだと考えるようになりました。幸い私の山は里山が多く、搬出も便利が良いので、間伐には適しています。また、令級もこの表で判るように1令級から11令級まで45haあり、現在年間200m³の間伐材が生産できます。

樹種別面積



問題は如何にすれば有利に、しかも高価に間伐材を販売することが出来るかということでした。間伐材を有利に販売するには、良質材であることが一番必要なことはすぐに判りましたが、どうすれば良材がとれるのか、いろいろ迷っていました。丁度そういう時期に44年の1月でしたが、林研主催のシボ丸太の講習会が開催されたので、飛び立つ思いで参加しました。そして早速、資料のプリントを片手に自分の山のわりあい完満通直な適木2本に巻つけてみました。しかし、その夏には、針金がバラバラに切れ当木も抜け落ちてしまつて最初の試みは完全に失敗でした。原因は針金の種類と太さでした。講習会では20番の生針金ということでしたが、雨の多かったせいもありますが、さびて切れてしまったのです。(次号に続く)

一部改正

輪車 50 cc 以下)の乗用者はヘルメット着用が義務付けになりました。違反者には点数を付する改正規定が施行されます。

又、自動二輪車の運転者は最高速度が四十キロメートル毎時以上

特別弔慰金の

請求を早く

戦没者の遺族に支給される特別弔慰金の請求は四十年から行っていますが、これは昭和十六年十二月八日以後、公務で戦没した同四十七年三月三十一日以前に公務扶料、遺族年金などを受け取る者がいなくなつた遺族に支給されるものです。

額面は三万円、十年償還の国債で、請求の終期限は昭和五十年五月二十八日までであります。

なお詳細は役場福祉課へお尋ね下さい。

の道路区間においては乗車用ヘルメットを着用しなければならず、又、同乗者（後に乗る人）もヘルメットをかぶらせなければならな
いとされています。

違反者には減点を付することに
なります。

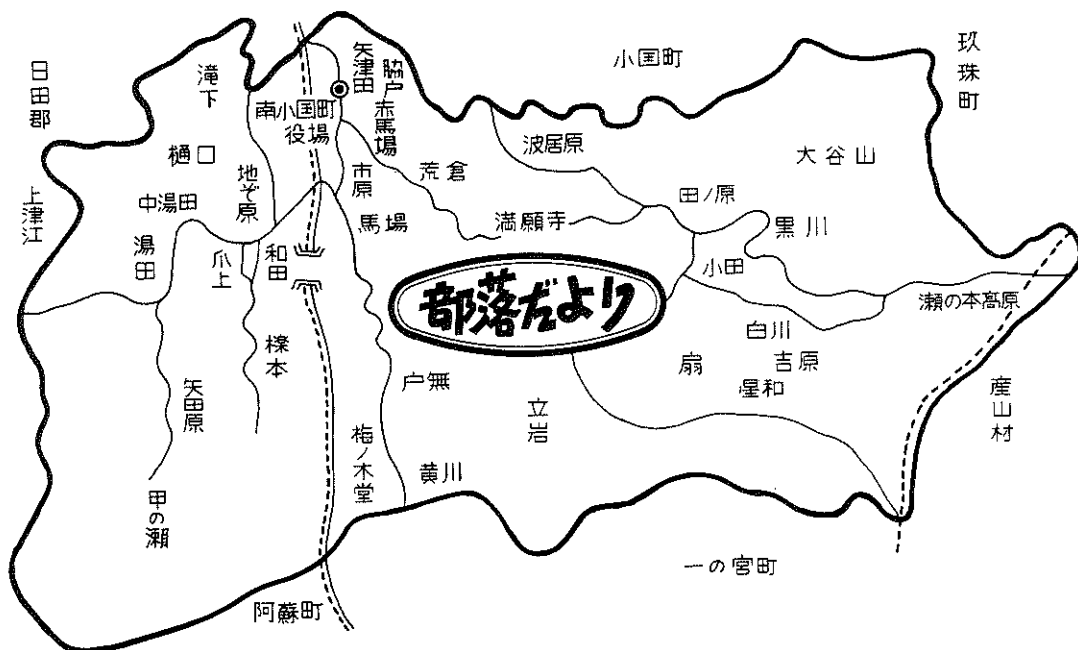
この理由は二輪車事故が非常に多く死亡事故率が高いため、これを軽減するためです。

香典返しについての御礼

このたび、左記のかたがたより
当町社会福祉協議会へご寄附いた
だきました。社会福祉事業のため
有意義に役立たせていただきます。

10

樋の口	武田重則
滝下	穴井光治



広報編集だより

広報みなみおぐにも、皆様の過大なご支援のもとに今回五月号を持ちまして一三八号を迎えることができました。しかしながらまだ編集にあたっては、内容面で皆様の御期待にそうことができず、御迷惑をかけています。今後とも御指導のほどよろしくお願い致します。

尚皆様方より多くの原稿が下されることをお待ちしています。